当社関連資料

電材流通 新聞

平成26年12月4日 18面掲載

国際放送機器展「Inter BEE 2014」

過去最多3万7959人来場

DXアンテナ

日本アンテナ

タキゲン製造

DXアンテナなどが最新機器展示

2014年国際放送機器展「Inter BEE 2014」（主催：一般社団法人電子情報技術産業協会）がこのほど、幕張メッセ（千葉市美浜区）で開催（一部既報）。国内外のトップレベルの放送機器、映像機器、音響機器、照明機器などが並び、3日間の来場者数は、過去最多の3万7959人に達した。

会場は、プロオーディオ部門、プロライティング部門、映像・放送関連機材部門、ICT／クロスメディア部門で構成。映像・放送関連機材部門には、DXアンテナ、日本アンテナ、タキゲン製造などが出展、最新機器を並べた。

DXアンテナは「情報伝送システムゾーン」「リニューアルゾーン」「受信関連機器ゾーン」に分けて構成。情報伝送システムゾーンではIPDC技術を用いて放送波にIPデータを乗せ、FTTH網やケーブルテレビ網・同軸ケーブル・放送波など既存の伝送路を通じて、一斉にIPデータの配信が行える情報伝送システムの活用例として「福祉情報配信システム」と「防災情報配信システム」を展示した。

「福祉情報配信システム」では、行政情報・自治会からのお知らせ、介護支援、子育て支援などの情報配信を紹介した。また「防災情報配信システム」では、緊急情報を即時に一斉配信し、受信機が光と音で知らせる様子を実演。来場者の関心を集めた。

リニューアルゾーンでは、既設の同軸ケーブルを利用して、IPネットワーク放送と同じ方式で自主放送を行うことができる。

また「V-Lowマルチメディア放送受信用ワイヤレスチューナー」は、Wi-Fi経由でのスマートフォンで視聴が可能に。会場ではスマートフォンにコンテンツを映し出し、来場者の関心を集めた。

タキゲン製造は「防振二重構造可搬ラック」「通信機器収納可搬ラック」「ハードタイプオープンケース」などの運搬用ケース類を出展した。

「防振二重構造可搬ラック」は、運搬時の振動から大切な機材を守る。その特長は、強固なアルミフレームで構成されBOX単体の強度に加えて、複数を積み重ねた状態でもラックの変形が生じない。また、積み重ねたまま通信システムが構築できる。さらに、さまざまな機能を想定したアルミフレームで構成。プロジェクターなどを引出し使用するスライドテーブルの装着やモニターをケースに入れたまま操作できるモニターBOXの製作が行えるなど、精密機器の運搬と運用を考えた設計が注目された。